

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 50 週(2024/12/9~12/15) 感染症発生動向調査速報値 (2024/12/18 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数: **231** 人、定点医療機関当たり **4.81** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点(小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

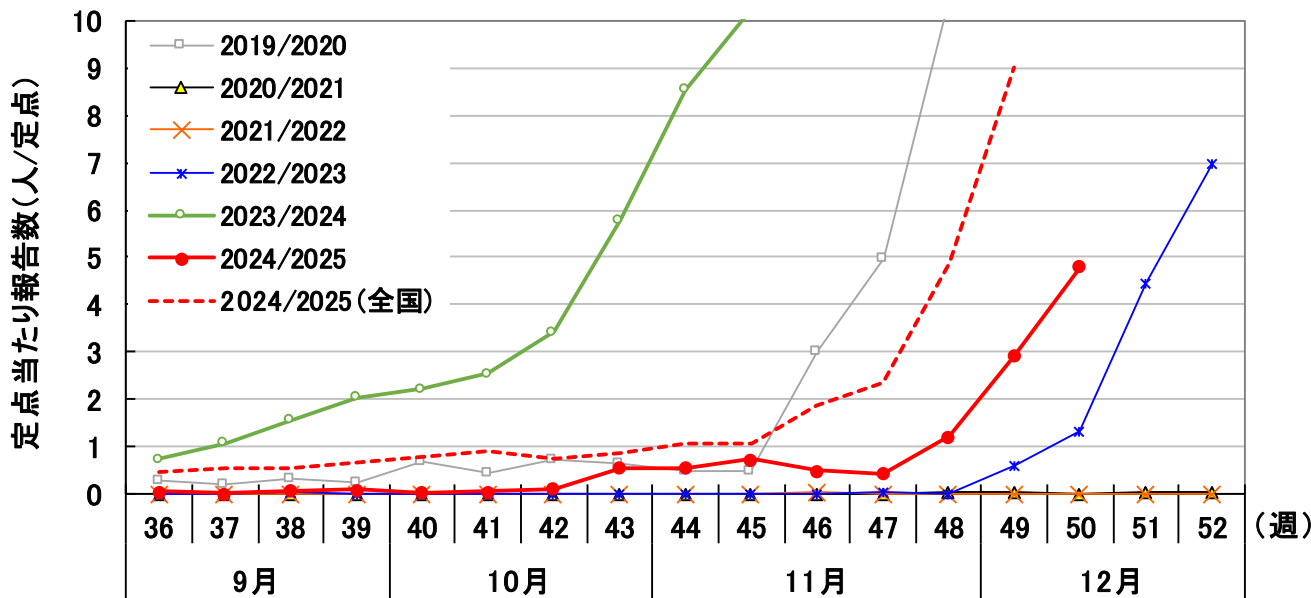
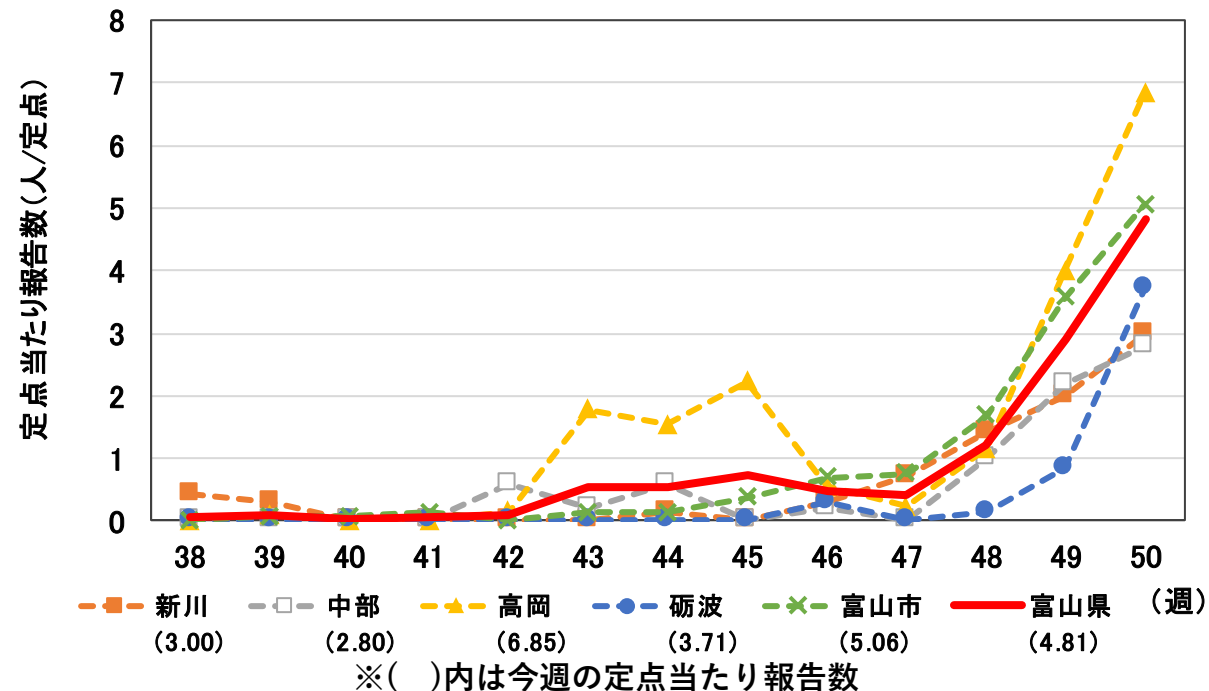
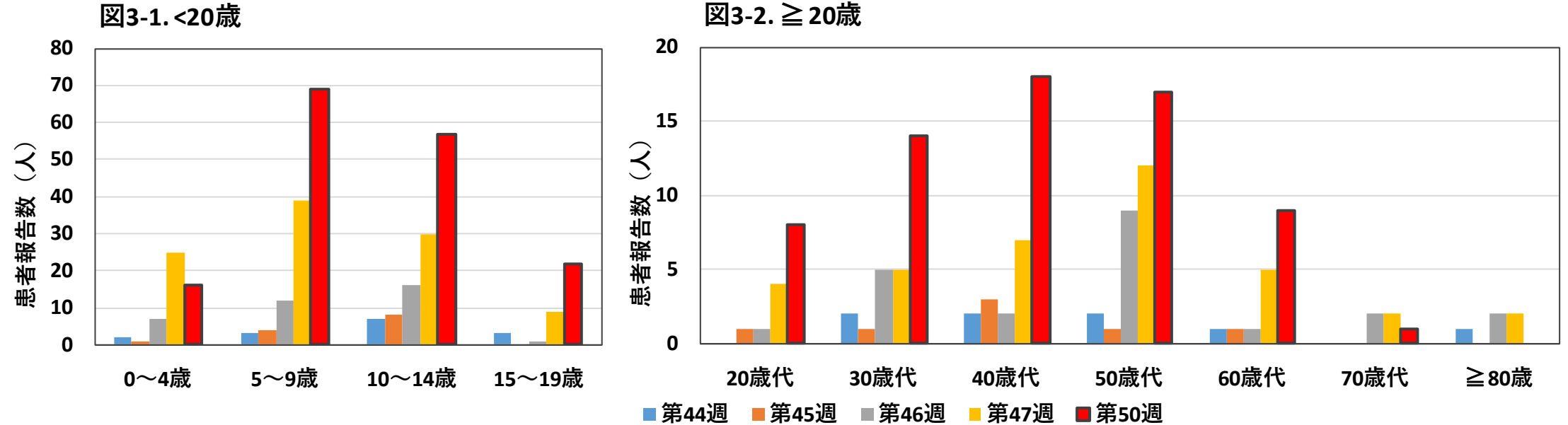


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週4.81人/定点となり、先週(2.92人/定点)から増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週から増加した。
また、すべての管内で流行開始の目安である1.0人/定点を超えた。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～9歳、10～14歳の小児、成人層は20～60歳代で増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第49週)

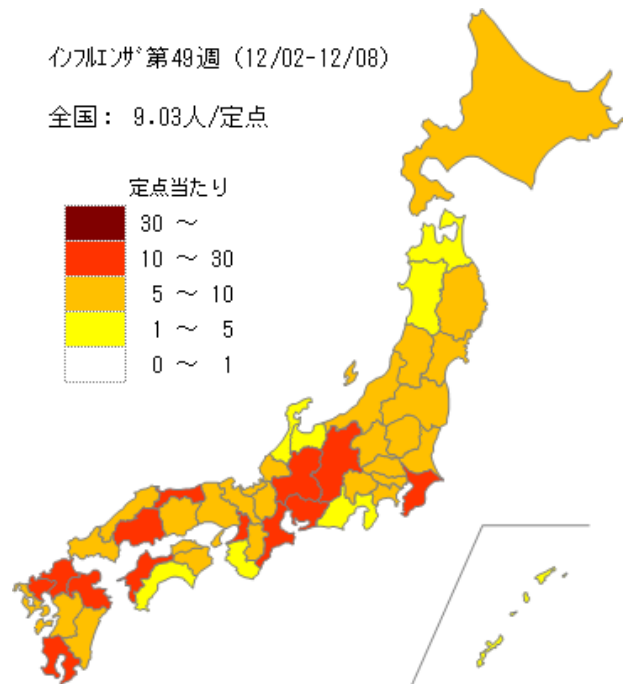
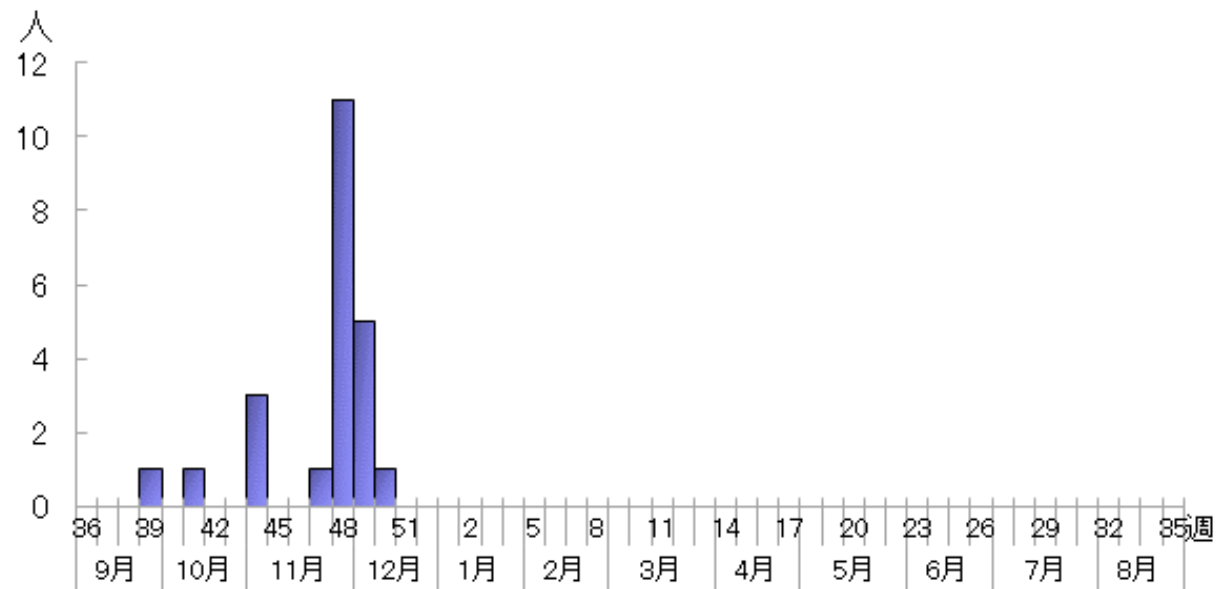


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第50週)



- 全国では第49週に9.03人/定点となり、第48週（4.86）から増加した。都道府県別（図4）では、全ての都道府県で流行入りの目安である1.0人/定点を超えている。また、13府県で注意報レベルの基準である10人/定点を超えた。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図5）では、今週1例（60歳代）の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は先週に引き続き増加した。また、第50週に学級及び学年閉鎖の報告が5件（小学校2件、中学校1件、高等学校2件）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。今シーズンは小児～成人層での感染拡大が懸念され、引き続き発生動向を注視する必要がある。